

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 夜間帯における大規模災害対応資機材取扱訓練

自治体名

大阪府八尾市

消防団名

八尾市消防団

1 事業の目的・必要性

活動環境を整え、消防本部と合同で訓練を実施することで、消防本部員との連携強化を図り、大規模災害に備えた対応能力の向上を図ることを目的とする。

2 事業内容

当市消防団は10分団（女性分団除く）22分隊で構成されており、全ての分団にエンジンカッター、投光器を配備するため、残り台数各4台を整備するとともに、防塵マスク（290人×2個）も購入し、訓練を行ったもの。

資機材取扱訓練においては、消防本部と合同で実施し、団員の対応能力及び士気向上、そして消防職員との協力体制の確立の必要性を再認識させることを目的とする。

管理区域内にある大阪府中部広域防災拠点内において、全団員を対象に夜間帯でのチェーンソー及びエンジンカッター取扱訓練、走行訓練、応急手当訓練と資機材等を活用した総合的な訓練を実施したもの。

3 事業成果

今後予想されている大規模災害は、消防職員のみでは対応が困難であり、消防団としても救助資機材を活用し、夜間帯における救助活動等を実施しなければならないということを確認していただき、全消防団員を対象に、消防職員の指導のもと夜間帯での救助資機材取扱い訓練を実施しました。

消防職員が指導したことにより、顔の見える関係づくりができ、今後の現場活動において迅速に対応できる連携強化も図ることが出来たものです。消防職員・消防団員の連携強化については、やはり一度顔を合わせただけでなく、引き続き合同訓練を実施し、更なる連携強化の構築が必要と考えます。

訓練を通じて団員は、平時から定期的に資機材に触れる必要性や自発的に訓練するなど大規模災害時の消防団の役割について再認識することもできた良い機会となりました。

なお、今回の訓練実施に伴い、消防職員、消防団員の意見を取りまとめたため、次年度以降の訓練に反映させ、消防職員・団員のスキルアップに繋げていきたいと考えます。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	3回	4回	団員145人 職員 24人
参加者	人数	約330人	169人	
検討会・打合せ	回数	5回	6回	

5 その他参考情報

今回の「消防団の力向上モデル事業」の中で、公式YouTubeによる掲載を行います。

